

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				実績	実績	実績
1 放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっば	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることも目的として、平日の放課後、3会場において実施する。	・ふれあいホーム(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年61回実施 ・地域交流館(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年53回実施 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年51回 ・3会場全体交流会年6回実施	・ふれあいホーム(毎週金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年51回実施 ・地域交流館(第1.3,5水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年53回実施 ・西鳥取会場(第2,4水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年23回 ・土曜日:西鳥取小、尾崎小(10時～12時)、東鳥取小(15時～17時) ・3会場全体交流会年6回実施(長期休業中3回)	・ふれあいホーム(毎週金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年38回実施 ・地域交流館(第1.3,5水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年25回実施 ・西鳥取会場(第2,4水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時) 年15回実施 ・土曜日:西鳥取小、尾崎小、朝日小(10時～12時)、東鳥取小(15時～17時)
2 阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけでなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。	・活動支援 鳥取東中学校 6月(2回)、7月(2回)、3月(1回) 貝掛中学校 7月(1回) 鳥取中学校 6月(1回)、7月(1回)	・活動支援 鳥取東中学校 7月(2回) 貝掛中学校 6月(2回) 尾崎小学校 7月(1回)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言や学校園の臨時休校、文部科学省発出の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」における、至近距離で行う管楽器演奏が感染リスクの高い学習活動とされていることなどを鑑み、今年度は実施せず。
3 男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	土木管理室	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力して、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、また「環境・美化啓発ポスター募集」や「男里川(山中川・うど川)水系の清掃活動」などを実施する。	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生生物観察会(高温注意報発令により中止) 9月 男里川水辺の学校(悪天候により中止) 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200人) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(約200人)	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生生物観察会 9月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200人) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(約200人) ・はんなんTVに出演し、一斉清掃について告知及び活動について周知	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生生物観察会 9月～10月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200～300人) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(約200人)
4 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル(円卓会議)事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっば	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。	・ラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) ・平成30年12月26日(水) ・平成31年3月27日(水) 当該年度は、調整がつかず、学期ごとに実施できなかった。	・ラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) ・令和元年8月28日(水) ・令和元年12月26日(木) 3月も開催予定だったが、コロナウイルス流行の影響で開催を断念。	コロナウイルス流行の影響で開催を断念。
5 箱の浦から始まる高齢者・一人暮らしのランチハウスの開設	箱の浦自治会まちづくり協議会	介護保険課	近年の高齢化は、想像より早く、各地域では高齢者問題が提起されており、食事の在り方が、高齢者の健康に大きく作用していることから、健康維持の面からも公民協働で、空き家を借りて「ランチハウス」を開設し、昼食会を実施し阪南市に広めていく。	月2～3回実施(第2・3・4水曜日) ・食事前は健口体操、食後は脳トレ、歌、ゲームなどで楽しむ。 参加数 約450人 ・泉大津市や他府県からも講演依頼。 ・「2017年度近畿ろうきんNPOアワード」で奨励賞を受賞。 ・公益財団法人あしたの日本を創る協会発行「まち・むら・144号」に掲載。		

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				実績	実績	実績
6 本のリサイクル関連事業	本のリサイクル運営委員会	図書館	現在、年3回行っている図書館主催の除籍資料を活用する「本のリサイクル事業」を市民協働事業として実施することで、開催頻度の拡大を求める市民ニーズを解決し、廃品となる本を減らす。また、事業実施団体はリサイクル本を有償で売却し、その収益を公共の福祉に使用するとともに、リサイクル事業の場を新たな市民交流・市民活動の場とする。	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回「ほんのリサイクル運営委員会」を開催。 来館者 4,862人 書架、ブックラック等の物品を購入した 売上冊数 7,243冊 図書館から除籍本8,817冊贈与 今年度の収益から公立保育所、幼稚園に書籍購入支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほんのリサイクル運営委員会」を10回開催。 来館者 3,731人 売上冊数 2,359冊 図書館から除籍本4,275冊贈与、寄贈本3,663冊 今年度の収益から公立保育所、幼稚園等17施設に書籍購入支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回「ほんのリサイクル運営委員会」を開催。 来館者1,994人 売上冊数 3,523冊 図書館からは6,017冊贈与（内訳：除籍資料2,383冊・除籍雑誌1,023冊・不要となった寄贈資料2,611冊） 今年度の収益から社会還元の一環として図書館の来年度の雑誌スポンサー7誌の年間購読料を負担することが決定。
7 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップ作製とバリアフリー観覧席設置	泉州バリアフリー協会	市民福祉課 まちの活力創造課	阪南市の一大集客イベントであり、市民が一同に会する「やぐらパレード」を通じて、地域の連帯を深め、阪南市の魅力を再認識する機会を創造する。具体的には、やぐらパレードが実施される地域を中心に、障害者の方と供に（車椅子ユーザー）B労アリアフリーの現状を实地調査検証し、情報収集を行い、やぐらパレードバリアフリーマップの企画・編集・作製を行い、パレード当日は観覧席設置運営、やぐら巡礼まち歩き等を実施する。		阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。 阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、阪南市やぐらパレードが中止となった。 これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。
8 舞校区避難所運営マニュアルの作成	舞地区自主防災会	危機管理課	災害時、避難所の管理運営は自主防災会の活動の一つとされているが、現状は検討されていないため、大規模災害発生時、防災会など地域住民が運営に当たる必要があると思われるが、何をどうしたら良いのか不明のため混乱が生じることが予想される。そのため、避難所の運営方法について予め検討を行い、必要な物品を備え、運営体制を構築し、いざという時の混乱を少なくする。 事業として、避難所開設から撤収までの運営について、市、消防、小学校、地域住民などの役割のマニュアル化を行う。			担当者が他団体の先行列を参考にしていたき台を作成し、舞地区自主防災会で検討。検討した素案をもって、説明会や協議を行った。 また、開設手順を箇条書きにした書類を作成すると共に、開設時に必要な物品を購入し、「避難所開設キット」として箱に収めた。
9 コットンワークス円卓会議	コットンワークス	まちの活力創造課	阪南コットンはふるさと納税返礼品の採用などと地域ブランドとして認知されてきた。しかしながら、昨今の生活様式や多様化に伴いコットンへの依存度や、機織り機技術伝承も困難となってきた。 そのような中、コットンの木栽培や機織り、展示会の実施などコットンに関し多くの関係者がそれぞれ独自に事業を実施している。 その関係者に対し、話し合いのできる場を設けることで、新たな事業の展開を生み出すことを目的に、年に複数回、円卓会議を実施する。			新型コロナウイルス感染症により、活動が思い通りにいかず、活動環境の見直し等を行う。 (休止届受理)来年(令和3年度)に事業報告会実施予定。
10 阪南市コミュニティWEB配信「はなていこほ。」	泉州電波発信協会	秘書広報課	現在、市で実施している「阪南TV」の課題を踏まえ、阪南市の面白さを全国に伝えるメディアを作る。			採択